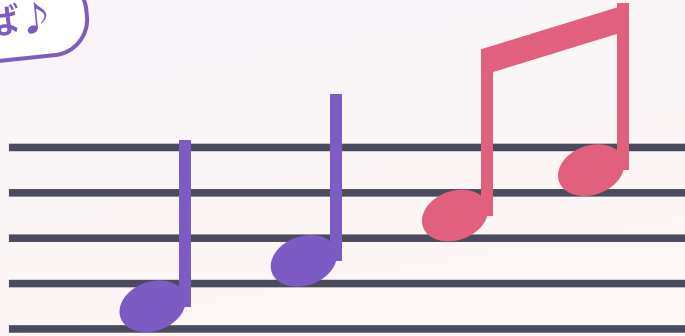


ことば ♪



気持ちを歌詞にしよう！

歌詞を書く

気持ちや景色を、言葉にのせて伝えよう



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましよう。

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

歌詞を書く準備	3～9
表現をみがく	10～15
歌詞を仕上げる	16～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

歌詞は、メロディにのせて気持ちを伝える言葉です。

気持ちや景色、物語を、音の高さや長さに合わせて言葉にしていきます。



- 歌詞は、詩と似ていますが、メロディにのせて声に出すことを前提に書かれます。
- 短い言葉でも、選び方しだいで深い気持ちを伝えられます。

1. 好きな曲の歌詞を1行、思い出して書いてみよう。

2. その1行から、どんな気持ち伝わってきますか。

ワンポイント うまい言葉を探すより先に、伝えたい気持ちを自分の言葉で書き出してみましょう。

書いて覚えよう

ふるさと

身近なテーマほど、自分らしい言葉が見つかりやすくなります。

- テーマは、大きすぎず、具体的なほうが書きやすくなります。
- 「友情」より「けんかした友だちと仲直りした日」のほうが、言葉が出てきます。

1. あなたが歌にしたいテーマを1つ決めよう。 _____
2. なぜそのテーマを選んだか、ひとことで書こう。

伝えたい気持ち・情景を描く

気持ちは、景色を描くことでも伝わります。

直接書く

気持ちをそのまま言う

うれしい

気持ちがすぐ伝わる

さびしい

わかりやすいが単純になりがち

情景で描く

景色や動きで伝える

空を見上げて笑った

うれしさが想像できる

窓の外は雨だった

さびしさがにじみ出る



Ken

「うれしい」って書けば、伝わると思った。

Emma

景色や動きで表すと、聴く人が自分で想像できて、もっと心に残るよ。



ポイント

- 気持ちの言葉と、情景の言葉を両方持っておくと、表現の幅が広がります。

やってみよう

1. 「うれしい」気持ちを、気持ちの言葉を使わずに情景で表してみよう。

書いて覚えよう

言葉えらび

似た意味の言葉でも、ひびきや印象がちがいます。

似た意味	言葉	印象
うれしい	はしゃぐ	元気で子どもっぽい感じ
うれしい	こみあげる	静かで深い感じ
歩く	駆ける	急いでいる、元気な感じ

ポイント

- 国語辞典や類語辞典で、似た言葉を探してみましょう。
- 音の響き（口に出したときの感じ）も、言葉選びの大切な基準です。

やってみよう

1. 「好き」と似た意味の言葉を、3つ書き出してみよう。

書いて覚えよう

同じ言葉のくり返しが、印象を強くします。

refrain

同じ言葉やフレーズを何度もくり返すこと

chorus

曲の中でもっとも盛り上がる、印象に残る部分

- 同じ言葉を2～3回くり返すと、聴く人の記憶に残りやすくなります。
- サビの中心になる言葉は、短くわかりやすいものが向いています。

1. あなたのテーマから、くり返したい言葉を1つ考えよう。

韻をふむ

行末の音をそろえると、リズムが気持ちよくなります。

韻（いん）

rhyme

行の終わりなどで、同じ響きの音をそろえること

母音をそろえる

vowel rhyme

「あ・い・う・え・お」の音を行末で合わせる工夫

1行目	2行目	そろえた音
きょうの空は青い（あおい）	君の声も届く（とどく）	い（母音）
風が吹く街（まち）	遠くまで待つ（まつ）	あ・つ

やってみよう

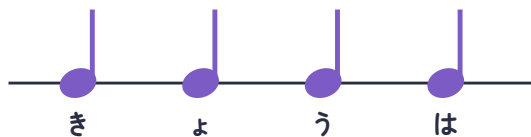
1. 「～い」で終わる言葉を、3つ書き出してみよう。

書いて覚えよう

音数をそろえる

メロディに合わせて、言葉の数を調整します。

音数のかぞえ方



「きょうは」は「きょ・う・は」で3音。1つの音に、1つの言葉の音を合わせます。

ポイント

- メロディの音の数と、歌詞の音の数を合わせると、自然に歌えます。
- 音が足りないときは短い言葉に、多いときは言葉を足して調整します。

やってみよう

1. 4拍のメロディに合わせて、4音の言葉を1つ考えよう。

書いて覚えよう

言葉のアクセントとメロディを合わせると、自然に聴こえます。

は な

「はな（花）」の高いところ（は）に、メロディの高い音を合わせると、自然に聴こえます。

- 言葉には、もともと高低のアクセントがあります。
- アクセントとメロディの高さがずれると、聴きとりにくくなることがあります。

1. 自分の名前を歌うように言ってみて、どこが高くなるか確かめよう。

サビの言葉

サビには、いちばん伝えたい言葉を置きます。

サビに向く言葉の工夫

短くはっきりした言葉

テーマそのものの言葉

くり返せる言葉

高い音にのせやすい言葉

サビは曲の中心。テーマがひとことで伝わる言葉を置きましょう。

ポイント

- A×〇・B×〇で気持ちを積み上げて、サビで解放するイメージです。

やってみよう

1. あなたのテーマを、いちばん短い言葉で表すとしたら？

書いて覚えよう

タイトルは、曲の顔になる大切な言葉です。

12

話の流れを決めると、書きやすくなります。

部分	役割
A×O	場面や状況を説明する
B×O	気持ちが高まり、サビへ向かう
サビ	いちばん伝えたい気持ちを歌う

ポイント

- 説明→気持ちの高まり→伝えたいこと、という流れが基本です。
- 最初から完ぺきな構成でなくても大丈夫。書きながら整理していきましょう。

やってみよう

1. $A \times O \cdot B \times O \cdot$ サビで、それぞれ何を書くか、ひとことずつ決めよう。

書いて覚えよう

比喻を使う

たとえを使うと、気持ちがより豊かに伝わります。

比喻（ひゆ）

metaphor

あるものを別のものにたとえて表現すること

直喩（ちよくゆ）

simile

「～のように」を使ってたとえる表現

直接の表現

比喻を使った表現

心が痛い

心に雨が降る

時間が早い

風のように過ぎる時間

やってみよう

1. 「うれしい」を、何かにたとえて表してみよう。

書いて覚えよう

実際の経験は、いちばんの言葉の宝庫です。

実際の経験は、いちばんの言葉の宝庫です。



自分の本当の気持ちを書くのは、少し恥ずかしいな。



でも、自分が実際に感じたことだからこそ、リアルな言葉になる気がするよ。

ポイント

- 特別な出来事でなくても、日常の小さな気づきが良い歌詞になります。
- 書いたものを人に見せるかどうかは、自分で決めて大丈夫です。

やってみよう

1. 最近心が動いた出来事を、1つ書き出してみよう。

書いて覚えよう

思いつくまま書く

そのまま歌いにくい

気持ちが伝わりにくい

整理する

すっきり伝わる

想像がふくらむ

- 1度で完成させようとせず、何度も声に出して見直しましょう。

1. 書いた歌詞から、削れる言葉を1つ見つけよう。

歌詞を朗読する

声に出すと、言葉の流れやリズムがよくわかります。

ポイント

- 声に出して読むと、詰まる場所や、言いにくい言葉が見つかります。
- メロディがなくても、読むリズムだけでも歌詞の良さは伝わります。

やってみよう

1. 書いた歌詞を、声に出して読んでみよう。
2. つっかえたところに印をつけよう。

ワンポイント 家族に聴いてもらうときは、恥ずかしがらずに、まずは書いたことをほめてもらいましょう。

書いて覚えよう

き　　よ　　う　　は　　はれ

18

歌詞の発表・歌詞ノートの続け方

書いた歌詞を発表し、続けて書きためましょう。

タイトル

テーマ

いちばんの1行

聴いてほしい人

Ken の例

タイトル 自転車で坂を／テーマ 部活帰りの夕方／いちばんの1行 風が背中をおしてくれた／聴いてほしい人 部活の仲間

ポイント

- 発表のあとは、「歌詞ノート」に書き残しておきましょう。
- 少しずつ書きためると、自分の言葉の引き出しが増えていきます。

書いて覚えよう

ことは遊びで、表現の力をきたえましょう。

ことは遊びで、表現の力をきたえましょう。

B (韻をふんで表す)

- Aがお題を出し、Bがその場で言葉を考える遊びです。
- 正解はありません。思いついた言葉を楽しんで出してみましょう。

ワンポイント すぐに出てこなくても大丈夫。考える時間そのものが、言葉の力を育てます。

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきは、上達のサインです。

つまずき

よくあること

言葉が思い浮かばない

白い紙を前に固まる

説明っぽくなる

気持ちがそのまま並ぶ

音数が合わない

メロディからはみ出る

コツ

こうしてみよう

思いつく言葉を全部書き出す

あとで選ばばよい

情景の言葉に置きかえる

1つだけ試す

声に出して数える

音数を確認する

ポイント

- できないところは、いったん置いて、あとで見直すのも良い方法です。

やってみよう

1. あなたが歌詞でつまずきやすいことは？ _____

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

歌詞の基本

☐ テーマ

歌詞で伝えたい中心の内容

☐ 構成

Aメロ・Bメロ・サビなどの組み立て

☐ タイトル

曲の顔になる短い言葉

表現の技法

☐ 比喻

別のものにたとえる表現

☐ 韻

行末などで音をそろえること

☐ リフレイン

同じ言葉をくり返すこと

音との関係

☐ 音数

言葉を構成する音の数

☐ アクセント

言葉の高低の調子

☐ サビ

曲でもっとも盛り上がる部分

仕上げ

☐ 朗読

声に出して読むこと

☐ 書き直し

見直してより良くすること

☐ 歌詞ノート

書いた歌詞を残す記録

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、歌詞の工夫も説明しやすくなります。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|-------|---|--------------------|
| テーマ | ● | ● ア. 別のものにたとえる表現 |
| 比喻 | ● | ● イ. 歌詞で伝えたい中心の内容 |
| 韻 | ● | ● ウ. 曲でもっとも盛り上がる部分 |
| リフレイン | ● | ● エ. 行末などで音をそろえること |
| サビ | ● | ● オ. 同じ言葉をくり返すこと |

2. 空らんに入る言葉を書こう

1. あるものを別のものにたとえる表現を [] という。 _____
2. 行末などで音をそろえることを [] という。 _____

3. 正しいほうに○をつけよう

1. 同じ言葉をくり返す技法 → (リフレイン / 比喻)
2. 曲でもっとも盛り上がる部分 → (サビ / Aメロ)

書いて覚えよう

頭にうかんだ言葉を1つメモする

見た景色を言葉にしてみる

好きな曲の歌詞を口ずさむ

今日あった出来事を一文で書く

歌詞ノートに1行書く

書いた歌詞を家族に読んでもらう

- 1回5分でも、毎日続けることがいちばんの力になります。

発表してみよう・感想を書こう

書いた歌詞を、人に伝えてみよう。

タイトル

テーマ

工夫したところ

聴いてほしい人

Emma の例

タイトル 窓の向こう／テーマ 転校した友だちを想う気持ち／工夫したところ 窓・雨・道の情景で
気持ちを表した／聴いてほしい人 転校した友だち

感想を3文で書こう

① この歌詞は、～な気持ちを書きました。② とくに、～のところに工夫しました。③ それは、～
だからです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

言葉の世界は、ここからどんどん広がります。

もっと知りたい人へ

図書館で

詩集や歌詞集を読む

動画で

好きな曲の歌詞を確認する

ノートで

気になった言葉を集める

次のステップ

曲の形式

歌詞を曲の形にのせる

アレンジ

同じ歌詞で表現を変える

発表

メロディをつけて歌ってみる

ポイント

- この教材の次は「曲の形式」。書いた歌詞を、曲の形にのせる学びが待っています。

書いて覚えよう

1. 歌詞とは、どんなものですか。 _____
2. いちばん気に入った技法は？ _____
3. これから挑戦してみたいことは？ _____

できたミッションに✓をつけよう： ☐1 ☐2 ☐3 ☐4

29

歌詞を書くチャレンジ

教室の外でも、言葉さがしはすぐに楽しめます。

見つけよう

身のまわりで**心が動いた景色**を1つ探す

書こう

見つけた景色を**情景の言葉**で書く

伝えよう

書いた言葉を**家族に読んで**もらう

こたえ

L26 テーマ→イ 比喩→ア 韻→エ リフレイン→オ サビ→ウ 2. 比喩 / 韻 3. リフレイン / サビ

L33 (例) 歌詞は、気持ちや景色をメロディにのせて伝える言葉。

書いて覚えよう

歌詞を書く (Season 8 | No.74)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。